



	Can-do目標	課題・タスク	テーマ・トピック例	Can-do目標細目	
				談話調整 (対話)	ストラテジー (対話)
初級1	【対話】 ● 基本的な挨拶ができる。 ● 易しい語彙や表現を使って、簡単な質問をしたり、答えたりできる。	ごく身近なことについての簡単なやりとり	挨拶、買い物、注文	【談話調整】 (対話) ・ 日常よく使う挨拶ができる。 ・ 身近なことについて、ゆっくりはっきり話されれば、一回の質疑応答ができる。	【スタイル】 (対話) ・ です・ます体で1回のやりとりができる。 ・ 日常よく使う挨拶ができる。
初級2	【対話】 ● 簡単な依頼や要求をするなど、生活に最低限必要なやりとりができる。 ● 日常生活でよく使う語彙や表現を使って、簡単なやりとりができる。	身近なことについての簡単なやりとり	道聞き、病院での会話、旅行の予約	【談話調整】 (対話) ・ 身近なことについて、ゆっくりはっきり話されれば、ごく短い会話が続けられる。	【スタイル】 (対話) ・ です・ます体でごく短い会話が続けられる。
中級1	【対話】 ● 身近なことについて、簡単な語彙や表現を使って、意見を述べたり、質疑応答ができる。 ● 興味・関心のあるトピックについて、相づちや聞き返しなどを使って、短い会話が続けられる。	小グループのディスカッション	学校生活の会話、日本での経験、自国の食文化や習慣との比較	【談話調整】 (対話) ・ 身近なことについて、はっきり話されれば、短い会話が続けられる。	【スタイル】 (対話) ・ です・ます体で短い会話が続けられる。 ・ 基本的な敬語表現を理解して応答できる。
中級2	【対話】 ● やや社会・文化的なことについて、質問内容を事前に準備して、簡単なインタビューやディスカッションができる。 ● 日常的な場面で、相手に応じて適切な語彙や表現を使って、会話が続けられる。	インタビュー、ディスカッション、ロールプレイ	私のキャリアプラン、自然と人間の関わり 相手を知るためのインタビュー	【談話調整】 (対話) ・ 基本的な敬語表現を使ってインタビューができる。 ・ 簡単な依頼や誘いなどのやりとりができる。	【スタイル】 (対話) ・ です・ます体で少し長い会話が続けられる。 ・ 基本的な敬語表現を使って話せる。
中上級	【対話】 ● 社会・文化的なことについて質問内容を事前に準備して、インタビューやディスカッションができる。 ● 依頼・詫言・約束をするなど、適切な語彙や表現を使って会話が続けられる。	インタビュー、ディスカッション、ロールプレイ	日本の不思議な習慣、自国の社会問題 依頼・誘い・詫言・約束などのロールプレイ	【談話調整】 (対話) ・ 相手に応じてインタビュー、ディスカッションで質問したり、相手から得たい情報を概ね得ることができる。 ・ 丁寧な場面とくだけた場面の違いを理解し、依頼・詫言などの会話が続けられる。	【スタイル】 (対話) ・ 常体と敬体の基本的な使い分けができる。 ・ インターアクションのためのストラテジー (対話) ・ 聞き手の反応を見ながら、あいづちやフィラーなどを使って会話が続けられる。
上級1	【対話】 ● 時事的・やや専門的なことについて、事前に準備して、インタビューやディスカッションができる。 ● 相手に応じて、交渉を含めた依頼・詫言・約束をするなど、適切な語彙や表現を使って、会話が続けられる。	調査研究のためのインタビュー、抽象的なテーマでのディスカッション、ディベート、ロールプレイ	社会制度・文化・習慣 (同性婚・原発など) の是非 交渉を含めた依頼などのロールプレイ	【談話調整】 (対話) ・ ディスカッションやディベートで自分の意見を述べ、他者と比較し、さらに展開させて課題を引き出せる。 ・ 交渉が必要な依頼や複雑な会話でも、相手に自分の意図を伝えることができる。	【スタイル】 (対話) ・ くだけた表現も敬語も相手に応じて使える。 ・ インターアクションのためのストラテジー (対話) ・ 聞き手の反応を見ながら、あいづちやフィラーを適切に使って、会話が続けられる。
上級2	【対話】 ● 時事的・専門的なことについて、根拠のある意見を述べながら、ディスカッションやディベートができる。 ● どんな場面や相手でも、適切な表現を使って、流暢に会話が続けられる。	調査研究のためのインタビュー、ディスカッション、ディベート	社会制度・文化・習慣 (死刑制度・人工中絶・メディアリテラシーなど) の是非	【談話調整】 (対話) ・ ディベートで反論し、相手を説得できる。 ・ 相手に合わせて流暢に会話が続けられる。	【スタイル】 (対話) ・ くだけた表現も敬語も相手に応じて使える。 ・ インターアクションのためのストラテジー (対話) ・ 聞き手の反応に合わせて、適切なあいづちや表現を使い分けながら、会話が続けられる。
超級	【対話】 ● 時事的・専門的なことについて、根拠のある意見を述べながら、ディスカッションやディベートができる。 ● どんな場面や相手でも、洗練された表現を使って、流暢に会話が続けられる。	調査研究のためのインタビュー、ディスカッション、ディベート	学生の専門に関連するテーマによるディスカッション	【談話調整】 (対話) ・ 自分の調査研究に必要なインタビューや、専門のテーマについてのディスカッションが円滑に行える。	【スタイル】 (対話) ・ くだけた表現も敬語も相手に応じて適切に使うことができる。 ・ インターアクションのためのストラテジー (対話) ・ 聞き手の反応に合わせて、適切なあいづちや表現を使い分けながら、会話が続けられる。

全レベル共通目標	<p>【①伝達性】 【②談話構成】 【③談話調整】 【④円滑なコミュニケーション】 【⑤既有知識の活用】 【⑥態度 (意欲)】</p> <p>▼自分の伝えたい内容を聞き手にわかるように伝えることができる。 ▼わかりやすくまとめた話ができる。 ▼相手に応じて会話が続けられることができる。 ▼場面・相手との関係に応じて、待遇表現等を適切に使うことができる。 ▼既有知識、学習済みの語彙・文法・表現を積極的に運用して話せる。 ▼聞き手に配慮しながら、会話が続けられることができる。</p>
----------	--